

東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社長
内 田 海基夫 様

J R 八高線に関する要望書

平成 2 8 年 1 月 2 9 日

瑞 穂 町
瑞穂町議会

J R 八高線に関する要望書

芳春の節、貴社におかれましてはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、J R 八高線は、町唯一の軌道系交通機関として、町の活性化に欠くことのできない極めて重要な役割を担っております。

町では箱根ヶ崎駅を「町の顔」として位置づけ、西側を「箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業」により整備し、東側は東京都を主体とした駅前広場をはじめとする周辺整備事業が着々と進展しております。

また、大型事業所である株式会社 I H I と箱根ヶ崎駅間や駅西口と大型商業施設間の民間バス路線により、箱根ヶ崎駅の利用客は更に増していくと思われまます。

統計では通勤・通学等により、毎日 2 万 3 千人以上が瑞穂町に出入りしております。このように交通需要は大きいものの、八高線の本数の少なさ、午前 0 時以降の運行が無いこと、地方交道路線のため運賃が高い等の理由から、多くの町民が八高線を不便に感じ、自家用車等を利用しているのが現状であります。

平成 2 6 年 2 月の大雪による運転見合わせの際、他線では複線であるため切替ポイントが少なく、安全確認が早期に完了したこと等から、八高線よりも早い運転再開となりました。さらに、今月 1 8 日の降雪時には、架線切断による運転見合わせに加え、回送車両の滞留により長時間に渡り踏切が遮断され、周辺道路の渋滞を招きました。災害時の運転を早期に再開するためにも、八高線の複線化が求められます。

また、多摩都市モノレールについて、今年度、交通政策審議会の答申が予定されているところですが、東京都が昨年 7 月に発表した『広域交通ネットワーク計画(交通政策審議会答申に向けた検

討のまとめ)』では、箱根ヶ崎方面への延伸が「整備について優先的に検討すべき路線」として位置付けられました。延伸が実現すれば、八高線との接続により、交通利便性が大きく向上します。

このようなことから、町民の中では八高線の運行本数の増発、新駅の設置、車両基地の建設及び複線化等の利便性向上への期待が非常に高まっております。

しかしながら、平成22年の車両基地及び拝島～箱根ヶ崎駅間の複線化計画を当面着手しないとの発表は、今後のまちづくりに甚大な影響を与えるものであり、町及び町議会としては容認することはできません。

町及び町議会では、現在推進している箱根ヶ崎駅西・殿ヶ谷の2地区に加え、箱根ヶ崎駅と金子駅のほぼ中間に位置する栗原地区の土地区画整理事業計画を進めるなど、沿線開発を積極的に進め、貴社の事業に引き続き協力してまいりますので、一日も早い現計画の凍結解除と事業着手について特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

要 望 事 項

- 1 列車の増結や運行本数の増発等、特に朝夕のラッシュ時及び24時台において、より一層利便性の向上を図られたい。
- 2 東京方面直通電車の増発を上下線共に図られたい。
- 3 箱根ヶ崎～金子駅間に位置する「栗原地区土地区画整理事業」予定地内に新駅の設置を図られたい。
- 4 東福生～箱根ヶ崎駅間に新駅の設置を図られたい。
- 5 車両基地及び拝島～箱根ヶ崎駅間の複線化計画の早期実現を図られたい。
- 6 地方交通線から幹線への昇格(運賃格差の是正)を図られたい。
- 7 朝夕ラッシュ時のホーム上の混雑等による線路上への転落防

止のため、ホームドア又は可動式ホーム柵を整備されたい。
8 箱根ヶ崎駅の発車メロディについて、瑞穂町にゆかりのある曲
の使用について協議願いたい。

平成28年1月29日

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 石 塚 幸右衛門

瑞穂町議会

議 長 高 水 永 雄

瑞穂町議会交通対策特別委員会

委 員 長 原 成 兆